

日欧大規模コホート研究における 生活習慣の変化とがん罹患後の予後との関連についての検討

1. 研究の対象

- ・ 多目的コホート研究 (JPHC Study) の 1990-1994 年のベースライン調査に参加された、岩手県二戸、秋田県横手、長野県佐久、沖縄県中部 (旧石川)、葛飾区 (旧東京都葛飾) の各保健所管内在住のその当時 40-59 歳だった約 6 万人 (コホート I)、および、茨城県水戸 (旧笠間)、新潟県長岡 (旧柏崎)、高知県中央東 (旧土佐山田)、長崎県上五島 (旧有川)、沖縄県宮古、大阪府吹田の各保健所管内在住のその当時 40-69 歳だった約 8 万人 (コホート II) の、合計約 14 万人の方
- ・ 1992 年から 2000 年において、欧州 10 か国 (フランス、ドイツ、ギリシャ、イタリア、オランダ、スペイン、イギリス、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー) に在住しその当時 35-70 歳だった約 52 万人の、がんと栄養に関する欧州前向きコホート研究 (European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition (EPIC)) に参加された方

2. 研究目的・方法

本研究計画では、1) 国立がん研究センターで実施されている日本人を対象とした多目的コホート研究 (JPHC Study) と、2) 国際がん研究機関 (International Agency for Research on Cancer, IARC) で実施されている欧州人を対象とした大規模コホート研究 (EPIC Study) で収集済みの個人データの統合解析を行います。国立がん研究センターがん対策研究所が研究解析を担当し、解析にあたる人員は、医師・大学教員・疫学者をはじめとする予防医学などの知識のある研究者です。この解析で得られた情報を通じて、日本人・欧州人における、生活習慣とがん経験者の予後や、主要ながんのとの関連を明らかにします。

研究実施期間は 2029 年 3 月 31 日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

生活習慣や健康状態に関するアンケート

詳細な身体活動記録・食事記録調査データ
追跡情報（生死、死因、がん・循環器疾患罹患情報、居住地情報）

4. 外部への試料・情報の提供・公表

提供

本研究において、データを解析した結果のみ外部（国際がん研究機関）に提供し、多目的コホート研究の個別データを外部（国際がん研究機関）に提供することはありません。

公開

研究で得られた成果は国民へ広く情報を還元するために、ホームページで公開しますが、集団の値が公開され、個人を特定できるような情報は公開されません。

5. 研究組織

国立がん研究センター

澤田 典絵（研究代表者）

国際がん研究機関（フランス）

Heinz Freisling（研究代表者）

Pietro Ferrari（研究代表者）

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、対象者ご本人、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者ご本人に不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するために、第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター 予防研究グループ コホート事務局 金原里恵子

TEL 03-3542-2511（内線 3346）, FAX 03-3547-8580

e-mail:jphcadmin●ml.res.ncc.go.jp（●を@に置き換えください）

研究事務局責任者・研究責任者：

国立がん研究センター がん対策研究所（予防研究グループ）澤田典絵

研究事務局：

国立がん研究センター がん対策研究所（予防研究グループ）金原里恵子